

資産評価政策学会
平成 23 年度 春の総会・シンポジウム

1. 開催日時

平成 23 年 7 月 23 日（土）13:00～17:20（17:30～ 懇親会）

2. 会場

日本大学経済学部 7 号館 2 階大講堂・14 階レセプションルーム
〒101-0061 東京都千代田区三崎町 2-8

3. 総会（13:00～13:40）

場所：日本大学経済学部 7 号館 2 階大講堂

- (1) 平成 22 年度事業報告（案）及び収支決算（案）について
- (2) 平成 23 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
- (3) 役員改選について理事の選出
- (4) 学会賞報告
- (5) 委員会の設置・再編
- (6) その他

4. 学会賞表彰式（13:50～14:20）

場所：日本大学経済学部 7 号館 2 階大講堂

- (1) 資産評価政策学会 学会賞論文賞・論説賞・著作賞の表彰
- (2) 受賞者代表挨拶

5. シンポジウム（14:30～17:20）

- (1) 場所：日本大学経済学部 7 号館 2 階大講堂
- (2) 主催：資産評価政策学会
- (3) テーマ：『大震災により生じる不動産評価のパラダイムシフト』
- (4) 趣旨

東日本大震災は、多くの死傷者や社会資本への直接被害など、想像を絶する悲惨な結果をもたらしました。また、首都圏においても液状化の被害が生じるなど、あらためて地震リスクを再認識させられました。

本パネルディスカッションでは、主として首都圏の賃貸不動産市場（不動産投資市場）に焦点を当て、大震災により生じた不動産評価のパラダイムシフトをご議論いただくことにいたしました。

企業は耐震性をはじめとしてリスクマネジメントを見直す動きをはじめています。賃貸市場では、防災性能の優れたオフィスビルへの問い合わせが急増した事例も出ています。

東日本大震災を契機に、今後、不動産評価で重視されるリスクはどのように変化するので

しょうか。耐震性評価や地震リスクマネジメント・ニーズの変化、不動産鑑定評価における変化、賃貸不動産市場におけるニーズの変化、投資ニーズの変化、さまざまな不動産評価パラダイムの変化について、多面的に議論をしていただきたいと存じます。

(5) プログラム

(以下敬称略)

司会進行：氷鮑 揚四郎（資産評価政策学会副会長・筑波大学大学院教授）

14:30～14:33 開会の辞：氷鮑 揚四郎（前出）

14:33～14:40 会長挨拶：三橋 博巳（資産評価政策学会会長・日本大学教授）

14:40～17:00 パネルディスカッション

モデレータ 久恒 新（立教大学大学院ビジネスデザイン研究科教授）

パネリスト 安藤 廉（株式会社イー・アール・エス代表取締役副社長）

中野 豊（日本不動産研究所研究部長）

増宮 守（ニッセイ基礎研究所副主任研究員）

吉田 二郎（ペンシルベニア州立大学助教授）

17:00～17:20 総括：巻島 一郎（資産評価政策学会理事・不動産証券化協会専務理事）

17:30 懇親会（会場：7号館14階レセプションルーム，参加費4,000円（予定））

以上